医療福祉生活協同組合 おおさか

コープおおさか病院　地域連携ニュース

あ お ぞ ら

Vol.25　発行日：2025 年 3 月 1 日　発行元：コープおおさか病院　地域連携相談室

謹啓、時下ますますのご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、コープおおさか病院　地域連携ニュース「あおぞら」を発行いたしましたので、送付させていただきます。ご高覧いただければ幸甚に存じます。今後ともご指導、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。　謹白

泌尿器科の紹介

医長：内田潤二医師

矢田康文医師

中谷　浩医師

泌尿器科外来	月	火	水	木	金	土
午前診	○	○	○	○	○	○
午後診						
夜診	○		○			

泌尿器科では尿路と男性生殖器の疾患の治療を担っております。必要があれば手術治療もおこなっており、病気の早期発見と治療に取り組んでいます。

【排尿障害の診断と治療】

前立腺肥大症、神経因性膀胱、過活動膀胱などの治療に積極的に取り組んでいます。治療は、病気の原因によって方針を確定しています。

【前立腺の病気の診断と治療】

前立腺の主な疾患である「前立腺がん」と「前立腺肥大症」に対する診断・治療をすすめています。前立腺肥大症には薬物療法が中心ですが、内視鏡手術（ＴＵＲ－Ｐ）を行っています。前立腺がんについては、がんの状態に見合った治療法を選択し、高度機能病院とも連携し、治療をすすめています。ホルモン療法、抗ガン剤治療にも取り組んでいます。

【ＰＳＡ検診と前立腺生検】

当院では、「前立腺がん」の早期発見のためにＰＳＡ検査を健康診断のオプションに加え、安価な自己負担金で受けることができるように取組んでいます。前立腺生検は、基本的にＰＳＡで異常を認められた方を対象に、短期検査入院にて実施しています。

【尿管結石の治療ＥＳＷＬ】

当院では、尿管・腎結石の治療にはＥＳＷＬ（体外衝撃波結石破砕術）や尿管鏡を用いた治療を行っています。ＥＳＷＬは入院不要で、初診日での治療も可能です。現在も年間で約 100 例前後の治療をおこなっており、大阪府内では有数の治療経験を誇ります。

【地域医療機関の先生方へ】

癌治療、排尿障害、尿路結石から尿路感染症に至るまで、当科疾患に対して幅広く対応させていただきますので、患者様のご紹介をよろしくお願いします。

第 9 回プライマリ・ケア学習会－糖尿病について－開催

時間内でお答えできないくらい事前質問があつまりました

法人医師委員会主催のプライマリ・ケア学習会が 2025 年 1 月 23 日におこなわれました。今回で 9 回目となるテーマは「糖尿病について」。当院の糖尿病内科、松枝恵医師が講師となり、診断、食事、治療等について話をしました。2 型糖尿病の方の中で 1 型糖尿病に近い緩徐進行 1 型糖尿病が含まれることがあることや、血糖高値傾向の方には GAD 抗体を調べたり、隠れた悪性疾患の可能性があることや、合併症の「し・め・じ」の症状、食事療法ではバランス良く、野菜・おかずから食べる、よく噛む事を、そして最後は糖尿病の患者さんに対してスティグマを持ったりレッテルを貼ったりせず、傾聴・提案・尊厳などを意識しながら診察することが大切であると講話し、医療従事者と患者間の人間関係の重要性のお話で結びました。予定時間の 1 時間では足りないくらい盛りだくさんの内容でした。当法人の東エリア、北エリアの事業所とも Zoom でつなぎ、会場参加もあわせて約 50 名の参加となりました。参加者からは、「非常に勉強になった。」「糖尿病の治療に特化した話も聞きたい」など続編を期待する声も頂きました。講演動画を YouTube 動画での限定公開をしています。視聴ご希望の場合は地域連携相談室(小林)までお問い合わせ下さい。

糖尿病教育入院について

糖尿病の正しい知識の理解、運動療法や食事療法などの実践方法を理解していただくために、月 1 回、9 日間の教育入院を実施しています。入院期間中に多くの事を学び取っていただくために、医師や看護師、栄養士などによる指導やビデオによる学習、保健師（健康運動指導士）などによる運動療法の実践なども行っています。糖尿病の治療は、患者さま自身が病気のことを知り、食事や自己血糖測定などを身につけていただく事がとても大切です。そうした視点で、教育入院に取り組んでいます。申込は地域連携相談室が窓口となっています。

スケジュール

入院：火曜日午前中　＞＞＞　退院：翌週の水曜日午前中

日 程

- 4/1-4/9(締切 3/27)
- 5/13-5/21(〃5/8)
- 6/3-6/11(〃5/29)
- 7/1-7/9(〃6/26)
- 9/2-9/10（〃8/28)

※8 月実施なし

こども班会「コペル君」

コープおおさか病院では毎月１回、地域の親子が集まり、子ども班会「コペルくん」を開催しています。２月のコペルくんは『音って何だろう？』をテーマに、こども９人、おとな７人、ボランティア６人、学生１人の参加でした。最初に音は『震え・振動』が波として伝わるものであること、耳を塞いでいても聞こえる音があることを体験しながら楽しく学びました。そして【音は目で見えるのか!?】の実験では音の振動が描く模様を観察したり、【骨で音は聞こえるのか!?】の実験では、耳を塞いでいても頭の骨や歯から伝わる骨伝導を体験し、子ども達は「耳をふさいでいても聞こえるんだ～！」と驚いていました。実験のあとは風船電話や声でクルクル回るおもちゃを工作して音の世界で遊びました。おやつはチョコレートファウンテン。タワーから流れてくるチョコレートにいちごやマシュマロ、ポテトをくぐらせて楽しみながら、子ども達はおいしそうに食べていました。

親子がホッとできる場所をつくろうと、2018 年３月にスタートした「コペルくん」。職員や学生、地域の方と協力しながら７年間つづけることができました。８年目も子どもたちの学習意欲や創作意欲を引き出す活動を目指し、自分たちも楽しめる活動にしていきます。

次回のこども班会『コペルくん』は、100 万人のクラシックライブ主催
【子どもたちに音楽を届けるプロジェクト】です！
日時：3 月 29 日(土) 14:00～
場所：コープおおさか病院健診棟２階

病院医療機能評価　受審し再認定へ

コープおおさか病院は、2024 年 11 月７日（木）、８日（金）２日間にわたり、病院医療機能評価を受審しました。病院機能評価とは、外部の評価機関である公益財団法人日本医療機能評価機構の中立的、科学的、専門的な見地から、病院の組織運営・管理と、病院が提供する医療について「患者」の視点での評価を受けるもので、患者中心のケアプロセスや医療の質の継続的な改善ができているかどうかを知る大切な機会となります。今回の機能評価審査は「３rdＧ：Ver.3.0」の基準となり、「一般病院１」と「リハビリテーション病院」の受審となりました。１年以上かけて取り組みをすすめた結果、2025 年２月に「認定」の通知がありました。これからも「安全、安心の医療」「医療、介護、保健活動の連携」を強め、地域から信頼される病院をめざします。

無料低額診療事業

無料低額診療事業は、社会福祉法２条３項の規定に基づき、ご本人又は同一生計者の合計収入が生活保護基準に満たない又は相当に低い場合、かかった診療費の自己負担分を無料若しくは減額する制度です。コープおおさか病院では、この制度を活用して「お金がないから治療を受けない」という方を少しでも減らし、生活保護の受給や就労支援を通して、一人一人が生活できる基盤作りのための援助を進めています。当院は個室であっても「差額ベッド代」を徴収せずに運営しています。経済的な心配をすることなく、安心して必要な医療を受ける権利をより一層追求していきます。

対象者

病気や障害、失業などによって一時的に収入がなく、医療費の支払いが困難な方、低年金、低所得の方。ホームレス、DV 被害者等

他法・他施策を優先利用

生活保護・国保 44 条（窓口負担減免）など社会資源の活用を第一優先、資産がある方は資産の活用を優先

医療講座

コープおおさか病院では、第２土曜日 14：00～15：00（８月、12 月以外）地域の方を対象とした医療講座を開催しています。１月は介護保険制度、２月は ACP（人生会議）についておこないました。３月８日は外科医・藤本医師による「我が闘病-血液疾患との闘い」をおこないます。

回復期リハビリテーション病棟　実績

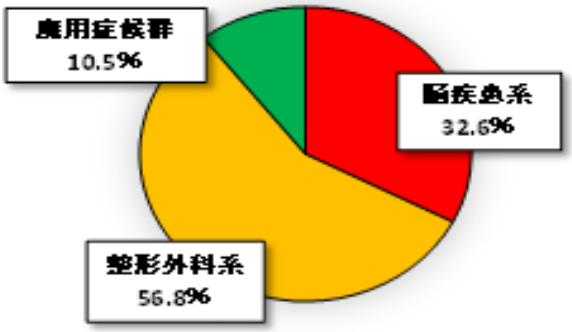
	2024 年 11 月	2024 年 12 月	2025 年 1 月
平均在院日数(日)	48.6	45.9	43.9
★患者 1 人あたりのリハビリテーション	7.14	6.86	6.52
■在宅復帰率	78.5%	90.6%	93.7%
●リハビリ実績指数	58.50	62.10	46.67

※目標

★１人あたりのリハビリは６単位以上　■「在宅復帰率」は在宅等への退院が 70%以上　●「リハビリ実績指数」は 40 以上

★１月疾患別患者の割合　95 名

	人数	割合
① 脳疾患系	31	32.6%
② 整形外科系	54	56.8%
③ 廃用症候群	10	10.5%
④ その他（非該当）	0	0.0%
合計	95	100.0%



コープおおさか病院　地域連携相談室　直通電話：06-6914-1126　FAX：06-6914-1136
【平日】９：00～17：00【土】９：00～12：30　【休み】日･祝　年末年始 12/29-1/3

ヘールン&コープン
マスコットキャラクター